

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 外国語 論理・表現 I 科目

教科： 外国語 論理・表現 I 科目： 論理表現 I 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （1組：小田桐のり子）（2組：小田桐のり子）（3組：川村貴美江）（4組：高橋薫）（5組：高橋薫）（6組：高橋薫）

使用教科書：（EARTHRISE English Logic and Expression I Advanced（数研出版））

教科 外国語 論理・表現 I の目標：

「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<p>○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。</p> <p>○外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。</p>	<p>○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。</p> <p>○外国語で聞いたたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。</p>	<p>○外国語を聞いたたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解しようとしている。</p> <p>○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p>

単元の具体的な指導目標	領域					評価規準	知	思	主
	聞	読	話〔や〕	話〔発〕	書				
<p>Lesson1 Introduce yourself to your class 話題：初対面で行われる自然な会話や学校の習慣を紹介する表現を学ぶ。</p> <p>文法：文の種類</p>	○	○	○	○	○	・相手の発話に適切な応答をすることができる。 ・さまざまな疑問文や命令文、感嘆文を適切に作り、それに応答することができる。 ・単文、重文、複文の構成を理解し、まとまりのある文で表現することができる。 ・自分のクラブ活動について、文と文のつながりを意識して、まとまった文章を書いたり、伝えたりしようとしている。	○	○	○
<p>Lesson2 How do you spend your weekends? 話題：学校の文化祭に参加する留学生との会話を通して、学校生活で行われる生徒同士のやり取りの表現を学ぶ。</p> <p>文法：文型と動詞</p>	○	○	○	○	○	・賛成・反対の意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりすることができる。 ・5つの文型とThere isの構文を理解し、文を組み立てることができる。また、注意すべき自動詞と他動詞の使い分けができる。 ・文化祭に行く予定について話し合える。日常生活について、具体例や情報を挙げて説明しようとしている。	○	○	○
<p>定期考査</p>							○	○	
<p>Lesson 3 Where did you go on vacation? 旅行の計画や予定を尋ねたり伝えたりする表現を学ぶ。</p> <p>文法：時制</p>	○	○	○	○	○	・会話の相手を激励したり、励ましたりすることができる。 ・基本時制の構造と概念を理解し、伝えたいことを適切な時制を用いて、書いたり話したりすることができる。 ・旅行の経験について詳細に話すことができる。 ・週末にしたことや来月の予定について、具体的に詳細を書いて伝えようとしている。	○	○	○
<p>Lesson 4 How can I get there? 趣味や関心のあることについて、その経験を尋ねたり、行き先を伝え合ったりする表現を学ぶ。</p>	○	○	○	○	○	・これまでの経験や初めての経験について、様々な表現を用いて尋ねたり、伝えたりすることができる。 ・適切な発音で道案内のロールプレイをすることができる。 ・道案内のロールプレイに必要な情報	○	○	○

1 学期

	文法： 助動詞					○	交換をすることができる。 ・道案内のロールプレイでは、情報や考えの流れや論理に矛盾がなく実演することができる。							
	Lesson5 Would you like to come with me? 将来・進路：将来や進路について、自分の意見や考えを伝えたり、相手に尋ねたりする表現を学ぶ。 文法： 助動詞					○	・会話の相手に許可を求めたり、依頼することができる。また、義務や必要性を伝えたり、過去の事柄を回想したり、自省することができる。 助動詞のそれぞれの意味と用法を理解し、適切に使い分けて表現することができる。 ・将来の夢について伝え合うことができる。 ・家のルールや子供の頃のこと、またいつかやりたいことについて、自分の主張に情報や考え、気持ちなどを適切な理由や根拠を加えて書いて伝えることができる。							
	定期考査													
2 学 期	Lesson6 Something really Japanese 日常生活で発話される生徒同士の自然な会話の流れを学び、自分の感情や物事を詳細に表現することができる。 文法： 受動態					○	・様々な表現を用いて、原因や影響について表現することができる。また、喜びや驚きの感情を表すことができる。 ・受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し、必要に応じて使い分け、適切に伝えることができる。 ・自身の買い物について詳細に伝えることができる。 ・好きな小説や最近驚いたことについて、情報や考え、気持ちなどを適切に書いて伝えることができる。							
	Lesson7 Do you do any volunteer activities? ボランティア活動を舞台に繰り広げられる友人同士の自然な会話のやり取りから、感情を表す様々な表現を学ぶ。文法： 不定詞					○	・感謝・謝罪・弁解する際に頻繁に使用される表現を会話の相手に感情を適切に伝えることができる。 ・不定詞の様々な用法をより詳細な情報を伝えることができる。 ・受け取った贈り物について詳細に伝えることができる。 ・自分の夢、高校生にとって一番大切なこと、日常生活で何かしないように努力していることについて、自分の意見や主張などを適切な理由や根拠と共に書いて伝えることができる。							
	定期考査													
	Lesson8 Let's enjoy school life! 学校生活で行われる会話からチームに誘ったり、見学を勧めたりする表現を学ぶ。 文法： 不定詞					○	・相手を誘ったり、申し出たりする表現を使うことができる。また、相手に物事を適切に推薦することができる。 ・不定詞の様々な用法を学び、動名詞句を使用した多様な文で伝えることができる。 ・スポーツをすることの利点について発表することができる。 ・学校生活の中で楽しみにしていることについて、情報や具体的を加えて詳細に書いて説明することができる。							

<p>Lesson9 Are you eco-friendly? 環境問題に関するコミュニケーションの場面で意見を述べたり、情報を加えて詳しく説明する会話を学ぶ。 文法：動名詞</p>	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・人や物事について情報を加えて詳しく説明することができる。また、判断の根拠を示す表現を使用して論理的に伝えることができる。を用いて表現することができる。 ・環境問題について自分の意見をまとめて発表することができる。 ・家族や友だちと撮った写真や日本人の特徴について、具体例や詳細な情報を加えて文章を書いて伝えることができる。 	○	○	○
<p>Lesson10 What sports do you like? スポーツのルールや歴史について紹介したり、その違いについて述べる会話表現を学ぶ。 文法：分詞</p>	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・人や物事、経緯を詳細に説明したり、言い換えや要約することができる。 ・分詞を用いて複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりできる。また、複合関係詞を用いて譲歩の意味を表すことができる。 ・日本の文化や人たちについて紹介することができる。 ・友だちや家族の紹介やあなたが今必要としていること、住みたい場所について、論理の展開を工夫しながら詳細に伝えたり、意見や主張の適切な理由や根拠とともに文章を書いて伝えることができる。 	○	○	○
<p>定期考査</p>							○	○	
<p>Lesson11 That's new to me! 海外の国の祝日や労働時間について話される会話から、物事を提案したり、相手の発言を称賛する仕方を学ぶ。 文法：分詞、分詞構文</p>	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・分詞構文に関する様々な用法と表現を理解し、物事の状態を分かりやすく説明することができる。 ・様々な国の問題について自分の考えを伝え合うことができる。 ・労働時間や祝日に関して自分の主張の理由や根拠を加えて、詳しく説明することができる。 	○	○	○
<p>3 学期 Lesson12 Which Nobel Prize winner do you admire most? 日本人のノーベル賞受賞者、自分が尊敬する人物をテーマに who, whichなどを用いて表現する。 文法：関係代名詞</p>	○	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・助言や願望を表す様々な表現を学び、相手や自分の立場に応じた適切な助言を求めたり、伝えたりすることができる。 ・仮定法を用いて、事実と違うことや実際には起こりえないことを述べることができる。 ・日本の社会問題について自分の意見を発表することができる。 ・タイムマシーンがあったら過去と未来どちらに行きたいか、また自分や家族の願望について、意見や主張の理由や根拠を具体的に示して、伝えることができる。 	○	○	○
<p>定期考査</p>							○	○	

え
あ用。書だど

